

平成29年6月8日

報道機関各社 様

「日本橋に青空を、日本橋川に光を」

首都高速道路の撤去又は移設を求める署名活動について

「“水の都”と讃えられた日本橋の景観を取り戻したい」

この思いは、私たち日本橋と関わる者だけでなく、今や広く大勢の方々からもご賛同をいただいています。東京が2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市となった今だからこそ、地域の歴史、文化を継承した潤いと活気のある都市を目指し、景観とともに防災にも優れた世界に誇れる都市交通ネットワークを実現すべき時期だと考えています。

こうした思いを込めて、2015年9月に「日本橋地域の上空を覆う首都高速道路の撤去又は移設に関する請願書」を32万9,500名の署名とともに衆議院議長あて提出いたしました。6月6日、衆議院提出時と同様に、名橋「日本橋」保存会の中村胤夫会長と日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会の橋本敬会長が代表して、自由民主党 参議院議員片山さつき氏のご紹介に基づき参議院事務総長郷原悟氏を訪問し、同請願書を11万2,665名の署名とともに参議院議長あて提出してまいりました。

結果として、総計約442千名もの方々の、日本橋地域の上空を覆う首都高速道路の撤去又は移設を求める請願が国会に届いたこととなります。この活動が、国内での歴史や文化・景観・自然環境と調和した都市づくりの発端となることを願っています。

【請願について】

- ・ 紹介議員：自由民主党 参議院議員 片山さつき氏
- ・ 請願件名：日本橋上空を覆う首都高速道路撤去又は移設に関する請願
- ・ 提出先：参議院議長 伊達忠一殿
(国会回次：第193回国会(常会))

【署名活動について】

- ・ 期 間：平成26年7月27日(日)から平成29年4月30日(日)まで
- ・ 署 名 数：衆議院あて32万9,500名分提出、参議院あて11万2,665名分提出
- ・ 活動主体：名橋「日本橋」保存会、日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、日本橋地域町会連合会
- ・ 活動場所：日本橋地域
- ・ 今後の活動：衆参両院への請願及び署名提出を礎として、引き続き国・東京都・中央区へ様々な機会を通じてアピールしてまいります。

【活動団体について】

■名橋「日本橋」保存会 とは

天下の名橋であり、五街道の起点である「日本橋」が高速道路によって覆われ、美観が損なわれてしまったのは1963年のこと。この「日本橋」を蘇らせ、少しでも良い状態で後世に伝えたいと、1968年に本会

が発足しました。現在は「橋洗い」など様々なイベントを通して、日本橋のPR活動を行っています。

■日本橋地域ルネッサンス 100年計画委員会 とは

江戸時代から文化・商業・情報の中心地として発展してきた日本橋に、かつての賑わいをとりもどし、「豊かな」しかも「潤いのあるまち」への再生を図るため、地元住民・企業が中心となり、1999年に設立。日本橋地域の活性化と日本橋川の再生ビジョンを提言し、21世紀のまちづくり策を発信していくことを決意し、行動しています。

■日本橋地域町会連合会とは

日本橋地域にある68町会から成る、7つの連合町会で構成されています。

請 願 趣 旨

江戸開府以来、五街道の起点が置かれた日本橋地域は、日本の歴史や文化、経済の中心地として発展してきました。2011年に架橋100年を迎えた重要文化財「日本橋」(20代目)。かつて明治の人々が“世界へ、新しい時代へ”という気概をもって架けた橋は、堅牢で美しく、日本人としての誇りをいまに伝えていきます。

しかしながら、1963年に頭上を覆った首都高速道路により、“水の都”と讃えられた日本橋の景観は失われ、川には光が届かず、いまや日本の歴史や文化、自然環境が損なわれております。さらに、築50年あまり経った首都高速道路は抱える問題も多く、東日本大震災時には上空の高架道路からかなりの軋み音がするなど、安全面や防災面での懸念はもはや言うまでもありません。また、昭和通り上空を覆う首都高速一号線上野線にあっては首都高速道路の中で最も古い路線の一つですが、交通量は2.7万台/日と他の路線に突出して少なく、その必要性自体が低下しています。

こうした中、国や東京都、首都高速道路株式会社でも様々な検討が進められていますが、首都高速道路のあり方そのものを見直す機運が高まる一方で、現位置での大規模修繕を基軸とした計画が示されるなど、方向性は必ずしも一致していません。三環状の整備が急ぎ進められている今、大型車両をはじめとする大量の通過交通が流入し都心の交通環境を圧迫している現状を見つめ直し、社会経済活動を効果的に支える道路ネットワークを再考すべき時がきています。首都高速道路の更新を単なる老朽化道路の更新に留めず、人を主役とする都市づくり実現に向けた革新の第一歩として検討すべきです。

2020年オリンピック・パラリンピック大会の開催都市として東京が決定された今こそ、我が国が目指す都市づくりのイメージを世界へ発信し、その実現に向け一丸となり取組んでいくべきです。私たちは、地域の歴史、文化を継承した潤いと活気のある都市づくりをめざし、「日本橋」上空はもとより、利用者の極めて少ない首都高速一号線上野線など、地域を分断する都心環状線を一部撤去し、日本橋の地に青空を取り戻すことを願います。この活動が、歴史や文化・景観・自然環境を重んじる、世界に誇れるような都市づくりの源流となり、いずれ日本全土へ波及することを願い、下記の項目を請願します。

請 願 項 目

1. 人が主役となる交通環境の実現に向け、都心部の通過交通を抑制しうる交通体系の総合的見直しを図ること
2. 首都高速道路の補強や作り替えの在り方を検討し、その撤去を含む抜本的な対応策を確立すること

【本件に関するお問合せ先】

■名橋「日本橋」保存会 事務局 TEL 03-3274-6263 (福島・近岡)
www.nihonbashi-meikyou.jp

■日本橋地域ルネッサンス 100年計画委員会 事務局
TEL 03-3231-2231 (鈴木・高村)
www.nihonbashi-renaissance.com